

あかふじ ニュース

第 18 号

発行 令和4年4月
山梨県消防防災航空隊



《山梨県ホームページ》
<http://www.pref.yamanashi.jp>

《やまなし防災ポータル》
<http://bosai.pref.yamanashi.jp>

山梨県消防防災航空隊
〒400-0108 山梨県甲斐市宇津谷 445-1
TEL 0551-20-3601
FAX 0551-20-3603
E-mail: bousai-kokuu@pref.yamanashi.lg.jp

- ・令和3年度緊急運航実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- ・北海道・東北・北関東ブロック防災航空隊研修会及び北関東ブロック航空
消防事務連絡会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2～3
- ・山岳遭難意見交換会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- ・合同訓練等実施内容等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5～10
- ・退任隊員紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11～12

令和3年度緊急運航実績

区分	件数 人員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
		救助	救助件数	2	3			2	3	9	11	1	2	1	3
救助人員	2		2			1	3	8	11	1	2	1	1	32	
救急	救急件数	2				1	1	8	9	1	1	2	1	26	
	搬送人員	2				1	1	8	9	1	1	1	1	25	
火災	災害件数	2	1								2		3	8	
	飛行回数	2	3								2		3	10	
災害応急対策	災害件数													0	
	飛行回数													0	
件数小計		6	4			3	4	17	20	2	5	3	7	71	
相互応援・広域航空消防応援・緊急消防援助隊	救助	救助件数	2				1	2	1	2	1	2		11	
		救助人員	2				1	2	1	2	1	4		13	
	救急	救急件数	2				1	2	1	2	1	2		11	
		搬送人員	2				1	2	1	2	1	4		13	
	火災	災害件数	3										1	1	5
		飛行回数	6										2	1	9
	その他	災害件数													
		飛行回数													
	件数小計		7				2	4	2	4	2	4	1	1	27
	緊急運航並びに相互応援協定・広域航空消防応援・緊急消防援助隊の合計件数														98

3月31日現在

今年度の緊急運航件数は、上記表のとおり3月31日現在で98件ありました。

このうち、救助活動件数は県内外合わせて48件あり、県内活動が37件、相互応援協定等に基づく他県応援活動が11件でした。

緊急運航件数のうち、県内での救助活動が52%を占め、救急活動は37%、火災防御活動は11%、災害応急対策は0%、また、県外への応援活動は28%あり、長野県、群馬県、静岡県、茨城県への応援活動でした。

北海道・東北・北関東ブロック防災航空隊研修会 及び北関東ブロック航空消防事務連絡会議

11月18日・19日の2日間、福島県消防防災航空センター及び福島県須賀川市市民交流センター t e t t e において、令和3年度北海道・東北・北関東ブロック防災航空隊研修会及び北関東ブロック航空消防事務連絡会議が開催されました。1日目は埼玉県防災航空隊、茨城県防災航空隊、福島県消防防災航空隊によるベランダ救助方法の展示及びNPO法人サーチドックふくしまによる災害救助犬の防災ヘリへの搭乗、現場投入訓練が実施されました。2日目は講演会が実施され、その中で山梨県消防防災航空隊相川隊長が「高高度（富士山）における防災ヘリ活動について」と題しまして「時間制限のある中、今助けなければ失われてしまう命と向き合い、削れるものを削り、より安全で最善の活動とは何かを追求し続ける事が使命だと考えている。」と山梨県消防防災航空隊の活動を発表しました。

11月18日（1日目） 実技訓練



「各県消防防災航空隊によるベランダ
救出活動展示」

埼玉県防災航空隊・茨城県防災航空隊・
福島県消防防災航空隊



「福島県消防防災航空隊及びNPO法人サーチ
ドックふくしまによる災害救助犬の防災ヘリへ
の搭乗、現場投入訓練」

11月19日(2日目)

講演会

令和3年度 北海道・東北ブロック防災航空隊 北関東ブロック航空消防事務連絡 合同研修会

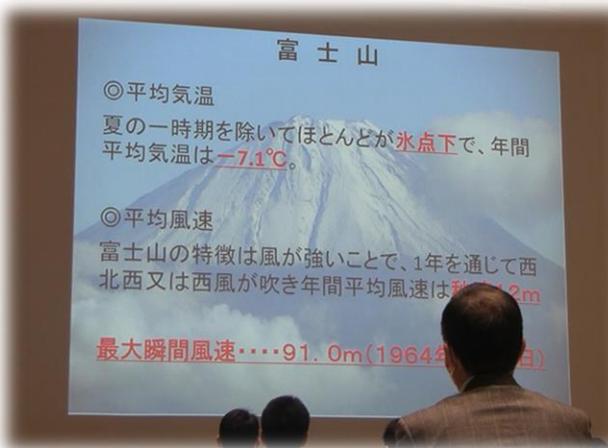


in 福島 2021



「高高度（富士山）における防災ヘリ活動
について」

山梨県消防防災航空隊 隊長 相川強直



山岳遭難防止に向けた情報交換会

令和3年6月25日（金）、山岳遭難防止を目的とし山梨県警察学校において「山岳遭難防止に向けた情報交換会」が実施されました。本年に発生した救助事案及び山岳遭難を山梨県警察、山梨県消防防災航空隊が発表しました。また、山岳遭難を分析した上で県内山岳関係団体及び、山岳関連商品販売店の方々に説明し、情報・意見を交わしました。

「山岳遭難件数を減少させるにはどのような手段で伝えていくべきか。」を他機関と話し合う実りのある情報交換会となりました。

《実施日》

令和3年6月25日（金）

《実施場所》

山梨県警察学校 3階講堂

《参加機関》

山梨県警察

山梨県山岳連盟

山梨県観光資源課

アウトティングプロダクツ エルク

SUNDAY（サンデー）

mont-bell 富士吉田店

好日山荘 甲府岡島店

ICI石井スポーツ 登山本店

山梨県消防防災航空隊



合同訓練再開

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、令和2年8月から無期限で中止となっていた合同訓練が令和3年10月に再開されました。訓練内容に制限を設けての再開ですが、合同訓練を行うことで山岳救助等災害現場における消防隊との安全確実な協力体制の構築と、効率的な連携活動の向上を図る事ができます。

新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、訓練内容に制限を設けての実施となりますが各消防本部、他県防災航空隊、関係機関との合同訓練を実施し連携強化を図っていきたいと思います。

峡南消防本部合同訓練

令和3年12月9日（木）、清哲訓練場において峡南消防本部救助隊との合同訓練を実施しました。2名の登山者が負傷した想定で、峡南消防本部救助隊がドローンを使用した要救助者の搜索活動、救出救助訓練、要救助者搬送訓練、あかふじ要請訓練を実施しました。

山岳地に入り実践的な訓練を実施することで、地上隊と航空隊との連携強化が図れる訓練となりました。



山梨県消防学校教育訓練

消防職員初任総合教育訓練

令和3年8月25日（水）、消防職員初任総合教育訓練生を対象に午前中は消防学校において航空隊の概要及び活動内容の講義を実施、午後は敷島総合運動公園において実機訓練の展示を行いました。

将来、この学生の中から航空隊に派遣される人がいるかもしれません。



消防職員特別教育山岳救助研修

令和3年9月6日（月）、消防学校において消防職員特別教育山岳救助研修生を対象に航空隊と地上隊の連携活動及び資器材の展示・説明を行いました。

山岳地で地上隊の活動が制限される中、ヘリコプターを用いた救助の有効性を伝えることができました。



山梨県議会総務委員会現地調査

令和3年11月8日（月）、山梨県議会議員総務委員会委員11名が山梨県消防防災航空隊を視察に来隊しました。緊急運航の活動紹介、救助資器材の展示を行った後、あかふじに搭乗し上空から県有施設の現地調査を行いました。

航空隊の活動を広くPRする事ができました。



山梨県地震防災訓練

令和3年11月14日（日）、山梨市役所において令和3年度山梨県地震防災訓練が実施され、当航空隊はヘリテレを使用し現地の被害状況をリアルタイムに地震災害対策本部へ映像送信しました。

上空から広範囲に渡る被害状況を伝えるため、ヘリテレの有効性を再認識できる訓練となりました。



群馬県消防防災航空隊進出訓練



令和3年5月31日（月）、群馬県消防防災航空隊「はるな」が運航再開を前に進出訓練及び飛行ルート確認のため双葉ヘリポートに飛来しました。

今後も相互応援協定を結んでいる県との連携強化を図って参ります。

航空機用電源車納車

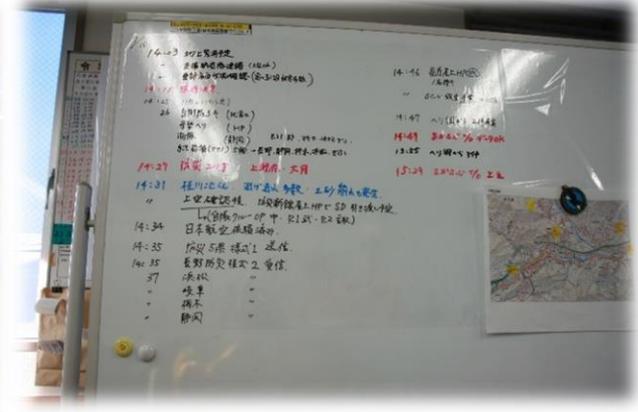
令和4年3月25日（金）、初代あかふじ（JA6748）、2代目あかふじ（JA223Y）の原動力として活躍してくれた航空機用電源車（ホバート社）が更新され納車となりました。

これからもあかふじの原動力として活躍を期待しています。



山梨県消防防災航空隊 受援訓練

令和4年3月4日（金）、山梨県内での大規模水害の発生を想定し、山梨県消防防災航空隊航空部隊受援計画に基づく受援訓練を実施しました。新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、自隊のみでの訓練となりましたが、ヘリベース運用訓練、受援・応援情報提供連絡訓練を実施し受援体制の再確認を行いました。今後も受援体制の強化を図って参ります。



山梨県消防防災航空隊自隊訓練

令和3年度も昨年度同様、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い合同訓練や多くの行事が中止を余儀なくされました。この状況の中、当航空隊は自隊訓練に時間を費やし、山梨県の高山岳という地域特性に合った手技の確立、ヘリコプター救助技術の向上に努め、隊員相互の連携強化を図って参りました。内容は救出救助訓練、給水散水訓練、ヘリテレ訓練、機長慣熟訓練、地形慣熟訓練、夏山・雪山登山訓練等を実施しています。

今後も厳しい現場での活動に対応すべく知識・技術の向上に努めて参ります。



退任隊員紹介

副隊長 野沢 亮

(南アルプス市消防本部)

救助活動	82件
救急活動	5件
火災防御	23件
その他	0件
出動合計	110件
救助人員	77名



副隊長 中島 龍一

(上野原市消防本部)

救助活動	78件
救急活動	3件
火災防御	24件
その他	0件
出動合計	105件
救助人員	73名

隊員 武藏 一摩

(甲府地区消防本部)

救助活動	76件
救急活動	1件
火災防御	23件
その他	1件
出動合計	101件
救助人員	85名



JA 223 Y あかふじ



令和4年3月31日付けをもちまして3年間の任期を終え、派遣元消防本部に帰任いたします。

各消防本部並びに各関係機関の皆様には、航空隊在任中のご支援ご協力に対しまして、厚くお礼申し上げます。

派遣元消防本部に帰任後も、これまでと変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

副隊長 野沢 亮

副隊長 中島 龍一

隊員 武藏 一摩

YAMANASHI

あかふじ

AIR RESCUE

